

沼田町の未来のために ～SDG sとゼロカーボン～

最近よく耳にする言葉として、「SDG s（エスディージーズ）」と「ゼロカーボン」があります。国の政策や国際的な課題に関することで、普段の生活や沼田町にはあまり関係がないものだと思いませんか？

1. SDG sとゼロカーボンとは？

SDG sは国連サミットで採択された2030年までの「国際社会全体の持続可能な開発目標」のことです。もちろんこれは一部の人のみに関係することではなく、地球に住んでいる全員に関係のある目標です。沼田町でも町の総合計画に取り入れられています。



またゼロカーボンとは、「脱二酸化炭素」を示す言葉で、沼田町は2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」宣言をしています。

2. 具体的には何をしたらいいの？

言葉の意味はなんとなくわかったとして、私たちはその実現のために何ができるのでしょうか？

SDG sには具体的な17の目標が設定されています。まずはそれらを知ることから始めましょう。身近なものもあれば、なかなか縁遠いものもありますが、それらを知って、意識しながら生活することが実は重要なことかもしれません。

またこのSDG sの17の目標の中には、ゼロカーボンの考えと直接結びつくものがいくつかあります。ゼロカーボンを目指すことは同時にSDG sを実現させることでもあるのです。ゼロカーボンについては、暮らしの中で改善できることがたくさんあります。



■ 日常的にできる具体的な取り組み ■

- ① (無理のない程度に) 暖房の設定温度を下げる。厚着をして過ごす。
- ② 家庭から出るゴミの量を減らす。
- ③ 自動車をなるべく使わず、徒歩や自転車、公共交通機関で移動する。
- ④ 電気(家電)の使用時間を短くする。
- ⑤ シャワーの時間を短くする。お風呂のお湯を少なく済ます。



これらは小さなことですが、長い間みんなが続ければ効果があります。何事もただ設定したり、宣言したりするだけでは意味がありません。小さなことから一つずつみんなで行っていきましょう。

3. ニュースに敏感になる ⇒ 自分の立場・範囲で考えてみる

毎日のニュースには、一見自分に関係のなさそうなものがあります。しかし、その中には身近な自分(の住んでいるところ)の問題と関連しているものもたくさんあります。

学びの機会は実はいたるところにあります。そこから一歩踏み込んで調べたり、考えたり、人と話してみたりするところから「生涯学習」が始まります。

お問い合わせ … 沼田町教育委員会 (電話 35-2132)

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>

